事業所名:　ハピネス　五戸

作成日:　平成　28年　12月　13日

2　目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	○理念の共有と実践 ・平成18年に作成した理念であり、10年経った現在も変わらずに利用者主体を一番に考え、当然わかっているものとしてとらえているが、日々の確認を忘れがちである。	・利用者主体のケアを常に意識できるよう理念の再確認をしていく。	①毎月のグループホーム会議で唱和し、意識する。	1か月（毎月実践）
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 ・「禁止の対象となる具体的な行為」についての掲示はしているも、言葉による制止や事故防止の為の過剰な見守り等、自由を制限してしまう時がある。	・利用者に束縛ではなく、安心と感じてもらえるケアや言葉がけの実践を行う。	①言葉による拘束とは何かを学ぶ。 ②見守りの仕方を利用者別に考えてみる。	12か月
					か月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。